



〈本郷キャンパス〉
学校法人文京学園
文京学院大学経営学部・外国語学部・
保健医療技術学部／大学院／文京学院
大学生生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3841-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
〈駒込キャンパス〉
文京学院大学女子高等学校／文京学院
大学女子中学校
〒113-8667 文京区本駒込 6-18-3
☎03-3946-5301

大学

留学生フィールドワーク

神社儀式・田植え体験で
日本文化を学ぶ

本学と教育提携を結ぶアメリカ合衆国ミネソタ州のセント・ベネディクト／セント・ジョンズ大学から10名の留学生を迎える、本学では6月7日、ふじみ野市で「神道と稻作」をテーマにしたフィールドワークを行いました。



初体験の神社参拝
神主・巫女姿がお似合い

本学学生と共に電車でふじみ野市へ移動した一行は、まずは「神道大教天神大教会」へ。学生から「神道と田植えの関係性」について英語での説明を受けた

後、厳粛なムードの中、お祓いの儀式に参加。さらに、神主・巫女の装束を着るという貴重な体験も。最後に絵馬に願いごとを書き、おみくじを引いて日本の風習に親しみました。

続いて、エコ田んぼNORAとの協働で、環境教育研究センターに所属する学生たちが管理している田んぼへ。同センターの学生から自然農法などの解説を英語で受けた一行は、早速実際に田植えを体験。慣れない作業に一心不乱に戦挑しました。

留学生と行動を共にした矢萩陸さん（外国語学部3年／写真上・前列右から2人目）は、「両大学間で、留学生を受け入れた側の学生が現地でサポートするという初の『交換フィールドワーク』として実施しましたので、スケジュールを作る段階から参加して、ふじみ野の学生と協力し合いました。僕自身も初体験のことばかりなので、事前に勉強しましたが、日本に関わる新たな知識を吸収できて良かったと思います」。

中瀬亮兵さん（コミュニケーション社会学科3年／写真上・前列左から3人目）は、「僕たちが取り組んでいる自然農法の3原則は、田んぼを耕さない、農薬を使わない、虫や動物を敵としないこと、さらにビオトープ田んぼを目指していることなどを説明したところ、大変興味を持ってくれました。フィールドワークで田植えが一番楽しかったと思ってもらえたとうれしい」。

本学心尽くしの充実したプログラムを修了した一行は、3週間の留学を存分に楽しみ、6月14日、帰国の途につきました。



一心不乱に田植えに励む留学生

持ちを想像すると、何となく親近感が湧いてくるのは、ある彼の文豪の気持だけでしょうか。明治の文豪に纏わりついだように、現代私たちにも香りなく寄り添つてくる「入試」ですが、私たちが抱く古来不变のイメージと大きく変わりつつあります。

たとえば、芥川龍之介は、成績優秀者として同じ第一高等学校に無試験で入学したそうです。学校関係者が引用するエピソードとして、はなかが問題がありそですが、教師経験もある彼の文豪の気持ちは、ある彼の文豪の気持を想像すると、何となく親近感が湧いてくるのは、ある彼の文豪の気持だけでしょうか。明治の文豪に纏わりついだように、現代私たちにも香りなく寄り添つてくる「入試」ですが、私たちが抱く古来不变のイメージと大きく変わりつつあります。



参加者の熱気に包まれるコンソナホール

進路指導担当の高校教員を対象とした「文京学院大学入試説明会」が6月19日、本郷キャンパスS館で開かれました。今年も、高校、予備校、併設校からの参加が約150名あり、会場のコンソナホールは来場者の熱気に包まれました。

本学入試説明会 大盛況！

大学 高校の進路指導教員対象

育んでいる様子を披露しました。

さらに、イザベル・マーティン本学特別招聘教授（Ateneo de Manila University准教授）が、「文京GCI」の特徴や本学の英語教育への取り組みについて講演しました。

その後、入試広報センター（青山学院大学名誉教授）が、「入試概要・入試変更点など」について解説。

S館見学会では、看護学科・経営学部・人間学部・保健医療技術学部から選抜された学生80名が、それぞれの所属する学部で紹介しました。外国语学院（文京GCI）（Bunkyo Global Career Institute）について紹介しました。

GCIの特徴や本学の英語教育への取り組みについて講演しました。

その他の、文京GCI（Bunkyo Global Career Institute）では、個別相談のホワイエでは、個別相談

が行われ、4学部各学科の教員と入試広報センター職員が来場者と熱心にやり取りしました。学生たちも個々の活動についてポスターを見学するなど、活発な交流が行われました。

また、文京GCI（Bunkyo Global Career Institute）では、個別相談のホワイエでは、個別相談



学生のポスターセッションに聴き入る参加者

時 間	内 容 (全プログラム無料)
9:00	受付開始 S館5F コンソナホール
9:15	開会式 S館5F コンソナホール
9:40~10:10	体験授業 右の講座のいずれかを受講できます。 ぶらり探訪「江戸文化」 血管年齢を推し当てる 慢性病と上手に付き合う
10:20~10:50	体験授業 右の講座のいずれかを受講できます。 戦国大名の実像 高齢者の認知症を防ぐには? 作業療法士が教える毎日できる転倒予防
9:40~11:00	健康相談(血圧測定や貧血測定実施)
9:40~11:00	大学生によるキャンバスマッチ（本郷キャンパス案内15分程度）
10:20~11:30	B'sCafe ランチ体験&学び相談(学生が福島県で作ったワインの試飲ができる)

申込みは AX03-5684-4834 へ。
申込みに関する問い合わせは、☎03-5684-4831 まで。

一方、漱石門下生の日本を代表する作家である夏目漱石は、大学予備門（のちの第一高等学校）の入試当日、隣席の友人に答えをそつと教えてもらつてやつと入学、

一方、漱石門下生の芥川龍之介は、成績優秀者として同じ第一高等学校に無試験で入学したそうです。学校関係者が引用するエピソードとして、はなかが問題がありそですが、教師経験もある彼の文豪の気持ちは、ある彼の文豪の気持を想像すると、何となく親近感が湧いてくるのは、ある彼の文豪の気持だけでしょうか。

明治の文豪に纏わりついだように、現代私たちにも香りなく寄り添つてくる「入試」ですが、私たちが抱く古来不变のイメージと大きく変わりつつあります。

Green Spirits

入試改革と高大接続



本郷キャンバスディレクター補佐
入試広報センター長
中島弘高

入試に直接携わる大学関係者でさえ戸惑うほど、現行の入試制度は種類も豊富で、複雑化した入試に適応するため、日々の運営に追いついています。

この複雑化した入試に適応するため、日々の運営に追いついています。

